

福田康一郎先生を偲んで

千葉大学大学院医学研究院教授
安西 尚彦

福田康一郎先生（千葉大学名誉教授，元医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長）が，2022年6月にご逝去（享年80歳）されました。本学会では評議員，欧文機関紙JJP編集委員，日本学術会議生理学研究連絡委員会をお務めになりました。



先生は，永年にわたり，生理学の教育・研究に努められ，医学部学生，大学院生，研究生の教育と指導に熱意を持って当たられ，呼吸および循環調節機能の実験研究，解析および研究論文作成の懇切な指導は多くの後進に多大の影響を及ぼし，専門領域のみならず傘下に参じた多くの基礎医学，臨床医学および関連医療領域に多くの人材を輩出されました。また「標準生理学」（第7版および第8版）の刊行では総編集を担当されました。

1997年発行の日本生理学雑誌 第59巻 4号では，「生理学教育・研究について個人的反省」と題する文章をVISIONのコーナーに掲載しておられます。

<http://physiology.jp/content/6227/>

研究面では生理学，特に呼吸生理学の分野でCO₂の呼吸刺激作用の機序（呼吸の化学調節メカニズム）の解明に取り組み，呼吸リズムの中核である延髄腹側表層の化学感受性領野に水素イオンによって脱分極する細胞が多数存在することを世界で初めて発見し，この分野の先駆的役割を果たしました。さらにH. Loeschcke, Shlafke等西ドイツ・ルール大学との国際共同研究により，延髄腹側表層に多数存在する水素イオンによるニュー

ロン興奮の機序がシナプス伝達に依存することを世界で初めて報告しました。また，延髄腹側表層化学感受性領野と呼吸中枢リズム発生機構および呼吸中枢からの神経出力の関係も明らかにされました。

また先生らの研究グループは，従来の古典的血液ガス分析装置では血液中のガス自由拡散の指標となるO₂，CO₂含量の分圧測定技術開発に取り組み，小動物（新生～成熟ラット・マウス）の呼吸・循環機能の定量的測定を可能とする*in vitro*（組織レベル）および*in vivo*（個体レベル）実験系を技術開発により初めて確立した。この実験系では呼吸量および呼気ガスCO₂濃度の正確な測定が可能となり，以後，炭酸ガスと低酸素に対する呼吸・循環調節機序，低酸素に対する耐性機序および加齢による呼吸機能の変化を測定することに成功し，これを明らかにされました。これらの業績は呼吸・循環生理学の発展に多大な貢献をしました。

教育行政面では，医学部大学院卒業後教育委員会委員長，医学部教務委員長および医学部教育改革部会長として，医学部の管理運営，医学教育の改善充実に手腕を発揮され，特に医学部長在任時には，重大な犯罪を行った精神障害者の診断，処遇判定，社会復帰，法運用など司法精神保健に関わる人材の育成や「心神喪失者等医療観察法」に関連した研究や実務者の教育に携わり，我が国の触法精神障害者対策をリードする人材を養成することを目的とした学内共同教育研究施設「社会精神保健教育研究センター」の2005年4月設置に向けて尽力され，大学の発展に多大な貢献をされました。

先生は学会においても幅広く活動され、日本生理学会以外に、日本臨床モニター学会の理事等の要職を務め、多くの学会・研究会に参画し、学会の発展に貢献なさいました。

社会活動面でも、先生は平成12年からの医学部長在任中に、全国医学部長病院長会議会長及び国立大学医学部長会議常置委員長という重責を担われ、大学病院における包括評価制度導入への対応および新医師卒後臨床研修制度についての全国的な取りまとめを行い、「臨床研修の基本骨格」を提言しました。平成13年から文部科学省中央教育審議会専門委員（大学分科会）もお務めになった他、医学における教育プログラム開発研究事業委員会委員（コアカリキュラム検討委員会）として医学教育モデル・コア・カリキュラム：教育内容ガイドライン（原案）の作成に携わり、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」を策定し、学部教育の再構築を提言されました。また公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構CATO運営委員および副理事長を務め、卒前卒後の医学教育改革に携わられました。

福田康一郎先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

1997年6月	千葉大学評議員併任（1999年5月まで）
2000年8月	千葉大学医学部長・大学院医学研究科長（のちに医学研究部長・医学研究員長）・評議員併任（2005年3月まで）
2001年5月	全国医学部長病院長会議会長（2003年5月まで）
2004年6月	医療系大学間共用試験実施評価機構CATO副理事長
2007年3月	千葉大学大学院医学研究院教授定年退職
2007年4月	千葉大学名誉教授
2022年6月	逝去

福田康一郎先生 ご略歴

1942年3月9日	誕生
1960年3月	県立千葉高校卒業
1966年3月	千葉大学医学部卒業
1966年4月	千葉大学医学部附属病院にて 実地訓練
1971年3月	千葉大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）
1971年4月	千葉大学医学部（生理学第二） 助手
1974年4月	千葉大学医学部講師
1975年8月	千葉大学医学部助教授
1975年	文部省在学研究員（ドイツ ポッフム・ルール大学生理学 研究所）
1992年7月	千葉大学医学部（のちに大学院 医学研究院）教授